



フランス料理  
サスフォー  
ビストロ Sus4



いちご通り  
世田谷通り  
新一の橋  
ビストロ Sus4

☎5761-2432 岩戸南1-3-6 営業＝午前11時30分～午後1時30分（月～金曜）/6時～12時、水曜休み（ランチは営業）

「ビストロSus4（サスフォー）」は肉料理を中心に手間をかけたさまざまなフランス料理を提供するレストラン。

「バラ肉の赤ワイン煮」（1,400円・以下税込み）は、ポルトワインで数時間煮込んだ軟らかい牛のバラ肉と、下に敷いたマッシュポテトとのコンビネーションが好評。このほか、「鴨のコンフィー自然風味」（1,400円）、「牛ハラミのステーキ」（1,800円）、「パテ カンパーニュ風」

手間をかけるうまさを引き出した肉料理



バラ肉の赤ワイン煮

鴨のコンフィー自然風味

（1,080円）、「オードブル 3種プレート」（900円）、「ラトウイユ」（580円）、「狛江人参のマリネサラダ」（500円）などが人気。

店主の石垣仁さん（37）は沖縄県出身で、名古屋市の専門学校でギター製作を学んだ後、20歳の時に狛江へ転居。音楽関係の仕事のかたわら、さまざまな飲食店で働きながら料理の腕を磨いた。平成28年に現在の店をオープンしたが、テーブル2卓とカウンターで17人まで収

容できる店の内装はすべて自分で手がけたという。

石垣さんは、8日間かけてロースハムを作るほか、サクなど魚の燻製や、

調味用に使うベーコン、シャーベットも自家製するなど、手作りこだわっている。素材の良さを引き出すには下ごしらえの段階から手を抜かないことが大切という石垣さんは「よそで味わえない、手の込んだ料理をリーズナブルな価格で提供していきたい」と話している。



石垣さん

5月の 狛江野菜 タマネギ



ネギ科に属し、球根にあたる部分を食用にする。長期間保存でき、年間を通じて出荷され、和洋中を問わずさまざまな料理に使われる。

市内で多くの農家が栽培しており、秋に種子をまいて育てる。4月～6月に出荷する新タマネギはサラダなどの生食用として人気が高い。

辛み品種や甘み品種など多くの種類があるが、一般的なのは辛み品種の黄タマネギ。球が固くしまり、ずっしりと重いものを選ぶと良い。

絹山孝幸さん 51歳（東和泉）



祖父の代から続く造園業「絹山園」を継ぐため造園や環境全般について学んだ後、アメリカの花作り農家で働く。帰国して20代初めに「絹山園」に入る。農家の友人に誘われ20代後半にマインズ農協加入、今年度、部長に就任した。実家はかつて野菜も栽培していたが、約50年前に農地を全て植木畑に転換、現在は父・功さん（77）とともに、祖父の代からの顧客の庭木の管理や寺の境内の樹木管理を行っている。現在は、客のニーズに合わせ市外の植木畑で中低木の花や実のなる木を育てており、「花とみどりの即売会」にツツジなどを出荷する。

栗山健一さん 53歳（西野川）



祖父の代から営む造園業「栗山園」に20歳で入る。20代の後半にマインズ農協に加入し、青壮年部のイベントなどに参加、28・29年度には青壮年部副部長を務めた。現在は父・久一さん（86）とともに、主に市内、調布市、世田谷区成城などの個人宅の庭木や生け垣のせん定・管理、垣根作りも行っている。常に新しい作業を心がけるとともに、技術の向上に励んでいる。

JAマインズ狛江地区青壮年部部員の横顔

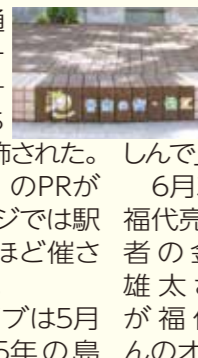


顧客のニーズにこたえるため、東野川にある植木畑でモチ、マキ、梅、サルスベリ、松など和風庭園でなじみ深い木を育てている。

音楽の街盛り上げる駅前ライブ

狛江駅北口交通広場の噴水ステージに「音楽の街-狛江」と「こまねちゃん」のロゴが装飾された。「音楽の街-狛江」のPRが目的。このステージでは駅前ライブが年6回ほど催され、市民に好評だ。

今後の駅前ライブは5月6日回に、平成25年の島唄バンドコンテストでグランプリを受賞した唄・三線のyayoさんとピアノコーラスのmeguさんのユニット「弥勒（みるく）」が出演する。狛江では「かわせみコンサート」や「狛江市民大学納涼祭」で演奏、人気を集めた。今回は琉球や八重山の歌をアレンジした曲やオリジナル曲を披露する。2人は「沖縄では欠かせないカチャーシ



つなげよう 音楽の架け橋

も踊るので、唄だけでなく踊りも楽しんで」と呼びかけている。6月3日回はサクソ奏者の金子雄太さんが福代さんのオリジナル曲「竹林」など5曲を演奏する。ニューヨークヘジャズ留学するまで狛江市に住み、市内でライブ演奏もした福代さんは「狛江にいた頃は狛江のパワーを吸収し、とても個人的で充実した日々でした。当日はその恩返しのできる演奏します」と話している。

いずれも演奏は午後1時から約45分間で入場無料。問い合わせ ☎3430-4106（一財）狛江市文化振興事業団。

狛江・多摩川花火大会 協賛金品を募集



8月8日（日）に開催される「平成30年度 狛江・多摩川花火大会」をみんなで盛り上げるイベントにするため、多くの方から協賛金品を受け付けている。

協賛金品は花火大会全体の運営経費にあてるもので、多くの企業・団体・個人を対象に募集する。

協賛金は1口1万円以上で、金額に応じ、招待席の贈呈、花火大会プログラム

や掲示板等への協賛者名の掲載などの特典がある（1万円未満も随時受け付けるが、特典はなし）。申し込みは6月29日（日）まで狛江・多摩川花火大会実行委員会事務局（地域活性課）で受け付けている。

ナイアガラ花火のクラウドファンディング

これとあわせ、狛江市と対岸の川崎市を結ぶ約200mのナイアガラ花火を実現するため、クラウドファンディング（インターネット寄付）も行う。

申し込みは5月11日（日）から。詳しくはクラウドファンディングサイト「CAMPFIRE」（<https://camp-fire.jp/projects/view/73601>）で。

問い合わせ ☎3430-1111 狛江・多摩川花火大会実行委員会事務局（地域活性課）。



桜まつりに32,000人



夜桜ライトアップやコンサートも

第4回こまね桜まつり（こまね桜まつり実行委員会主催）が4月1日（日）に根川さくら通りなどで催された。

ことしは平年よりソメイヨシノの開花が1週間以上早く、花びらが舞うなか、歩行者天国になった道路は家族連れなど約32,000人（主催者発表）でにぎわった。道の両側にはキッチンカー15台と市内の市民団体の出店などが並び、食べ物や飲み物を販売したほか、ふるさと友好都市の新潟県長岡市川口地域や山梨県小菅村などもアユの塩焼き

などの特産品を販売、人気を集めていた。道路では子どもたちのストリートダンス、狛江第二中学校ダブルダッチ部などが見事なパフォーマンスを披露、観客から大きな拍手が送られていた。

また、桜のライトアップは、当初の予定より3日（日）から4月1日（日）まで西河原公民館前と水神前で行われ、夜空に白く浮かび上がるサクラを楽しむ人が次々と訪れていた。

30日（日）には西河原公民館で市内在住のバイオリニスト飯守朝子さんとピアニスト小井土文哉さんの桜コンサートが西河原公民館で催され、約200人の聴衆は若

いアーティストのフレッシュな演奏を楽しんでいた。

民家園では能楽鑑賞会

3月31日（日）にむいから民家園で能楽鑑賞会が催された。ライトアップされた古民



古民家で能楽鑑賞会

家を舞台に夕方から催されたもので100人以上の観客が訪れた。

鑑賞会では狛江能楽普及会の教室に通う幼稚園から高校生までの生徒が練習を重ねた「竹生島」「加茂」を披露したほか、客席のおとなたちに「高砂」の指導を行った。続いて、金春流シテ方の中村昌弘さんが、「八島」「天鼓」を披露、観客たちは伝統芸能を静かに味わっていた。

住まいと暮らしの調和を創る  
新築木の家は安心・安全 自然と調和 癒し空間  
健康優良100年住宅  
リフォーム、全面改装 大得意  
ご相談、プランづくり無料 建築士専門家が対応します  
フリーダイヤルまでお気軽に！  
☎0120-565-321 受付時間 9:00~18:00 土日営業  
トークン  
URL ▶ <http://www.token-h.co.jp>  
●一級建築士事務所 ●建築・施工・監理  
株式会社 東建ハウジング